

全国学力・学習状況調査について

丸子中学校

中学3年生を対象に全国で実施した「全国学力・学習状況調査」の結果と、今後の対応についてお知らせいたします。

国語

すべての項目において長野県平均・全国平均を下回りました。全体の平均正答率を見ると、各領域の知識・技能の正答率が低いこと、また読むこと・書くことの領域の正答率が低くなっています。特に読むことの思考・判断・表現の問題では、出題意図が「目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる」ことに対して、必要な情報を適切に取り上げることができていない誤答が四割を占めています。書くことの思考・判断・表現の問題では、出題意図が「表現の効果を考えて描写をするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる」ことに対して、正答条件を満たさない誤答が多くみられました。課題や目的などを理解することを通して情報の取捨選択をおこなうこと、具体→抽象・抽象→具体などの段落の関係や構成に着目して、目的に応じて抽出すべき情報を抽出できるよう授業を工夫していきます。

数学

すべての項目において長野県平均・全国平均を下回る結果となりました。全体の平均正答率を見ると、もっとも平均正答率が低いのは、数と式、データの活用でした。また、評価の観点では、知識・技能、思考・判断・表現共に低く、問題形式では記述式が低い傾向でした。数と式の知識・技能の問題では、出題意図が「等式を目的に応じて変形することができるかどうかを見る」ことに対して、単項式で回答する誤答率が高い傾向でした。また、データの活用の知識・技能の問題では、出題意図が「複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる」ことに対して、提示されたデータから正しく情報を読み取ることができずに誤答をしている様子が見られました。授業内で課題の理解を促す支援をするとともに、授業中に行う活動の意味や目的・理由を生徒とともに考え確認をしたり、明確に分かりやすく説明したりする活動を取り入れるなど、工夫・改善していきます。

生徒質問紙

全国や県と比較してポイントが高い項目や低い項目は下のようになりました。

○全国や県と比較してポイントが高い質問項目

- ・人が困っているときは進んで助けていますか
- ・PC、タブレットなどのICT機器を活用して、分からないことがあった時にすぐに調べることができる
- ・PC、タブレットなどのICT機器を活用して、自分の意見や考えを正しく伝えることができる
- ・PC、タブレットなどのICT機器を活用して、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

○全国や県と比較してポイントが低い質問項目

- ・毎日同じくらいの時刻に起きていますか ・自分には良いところがあると思いますか
- ・携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
- ・分からないことや詳しく知りたいことがあった時に自分で学び方を考え工夫することはできていますか
- ・課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいましたか
- ・学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

ポイントの高い項目では、特にタブレットの使用状況が比較的高い状態であることと、それに伴う学習効果について生徒が実感している様子が伺えます。また、「人が困っているときは進んで助ける」や「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の質問に対する回答の様子から、他者意識を持って生活している様子が伺えます。引き続き人権学習や道德教育を含めた日常生活の中で、他者意識を大切にする気持ちを育てていきます。ポイントの低い項目を見ると、学習に主体的かつ粘り強く取り組む姿勢がやや弱い状況が伺えます。ポイントの高い項目であるICT機器を活用しての学習とリンクさせながら、生徒の学習意欲を喚起したり、ドリルなどで繰り返し粘り強く学習する意識と態度を醸成していきます。また、生徒の困り感に十分対応できていない様子が伺えます。教育相談の時間を活用しながら、生徒指導や生徒支援を担任のみでなく、多くの職員で関わりながら対応していきます。